

平成30年5月期経営状況概要

項目	予算額 (繰越金)	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	執行+支出負担	対予算比
8. 水道事業収益	2,582,351	196,145	384,025	14.9%	2,198,326		
1. 営業収益	2,257,090	192,185	375,708	16.6%	1,881,382		
1. 給水収益	2,225,880	191,503	374,416	16.8%	1,851,464		
2. 受託工事収益							
3. その他営業収益	31,210	682	1,292	4.1%	29,918		
2. 営業外収益	325,076	3,960	8,317	2.6%	316,759		
3. 特別利益	185				185		
9. 水道事業費用	2,565,908	73,365	103,335	4.0%	2,462,573	573,181	22.3%
1. 営業費用	2,324,129	73,286	103,102	4.4%	2,221,027	572,948	24.7%
1. 原水及び浄水費	493,668	29,416	41,991	8.5%	451,677	266,277	53.9%
2. 配水費	317,000	19,100	25,856	8.2%	291,144	106,683	33.7%
3. 給水費	113,496	4,914	6,062	5.3%	107,434	24,714	21.8%
4. 受託工事費							
5. 業務費	161,089	12,932	13,920	8.6%	147,169	148,119	91.9%
6. 総係費	141,814	6,924	15,273	10.8%	126,541	27,156	19.1%
8. 減価償却費	1,026,962				1,026,962		
9. 資産減耗費	70,100				70,100		
10. その他営業費用							
2. 営業外費用	220,978				220,978		
3. 特別損失	801	79	232	29.0%	569	232	29.0%
4. 予備費	20,000				20,000		
10. 資本的収入 (繰越含む)	1,501,839	2,042	3,511	0.2%	1,498,328		
1. 企業債	978,800				978,800		
2. 負担金・補償金	185,107	357	357	0.2%	184,750		
3. 補助金	188,542				188,542		
4. 出資金	140,513				140,513		
5. 加入金	8,877	1,685	3,154	35.5%	5,723		
9. その他資本的収入							
11. 資本的支出 (繰越含む)	2,702,176	70,117	73,002	2.7%	2,629,174	495,360	18.3%
1. 建設改良費	1,999,042	70,117	73,002	3.7%	1,926,040	495,360	24.8%
1. 取水施設整備費	288,626				288,626	253,903	88.0%
2. 導水施設整備費							#DIV/0!
3. 浄水施設整備費	170,127				170,127		
4. 送水施設整備費						80,408	#DIV/0!
5. 配給水施設整備費	1,537,889	70,117	73,002	4.7%	1,464,887	161,049	10.5%
6. 消防設備整備費	2,400				2,400		
2. 企業償還金	703,134				703,134		
12. たな卸し資産購入限度額	52,436	1,870	2,139	4.1%	50,297	2,139	4.1%
①有収水量	7,780,100	667,494	1,299,489	16.7%	6,480,611		
②供給単価	286.10	286.90	288.13	100.7%	△ 2.03		
③給水原価	329.70	109.79	79.34	24.1%	250.36		
人件費	235,407	14,366	30,563	13.0%	204,844		
1. 収益的収支	193,557	11,632	25,049	12.9%	168,508		
1. 職員給与費	193,435	11,632	25,049	12.9%	168,386		
2. 特別職 (報酬、賃金等)	122				122		
2. 資本的収支	41,850	2,734	5,514	13.2%	36,336		
* 職員給与費	235,285	14,366	30,563	13.0%	204,722		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	8.7%	6.1%	6.7%				
2. 全職員	10.6%	7.5%	8.2%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
A. 固定資産	45,818,056	45,886,058	68,002	
*減価償却累計額	19,449,164	19,449,164		
B. 流動資産	3,098,763	3,245,622	146,859	
1. 現金預金	2,770,917	2,964,974	194,058	
2. 未収金	237,379	213,148	△ 24,231	
3. 貸倒引当金	△ 5,133	△ 5,133		
4. 貯蔵品	32,638	32,210	△ 428	
5. 前払費用・前払金	57,830	24,694	△ 33,136	工事前払金等
6. その他		10,596	10,596	仮払消費税
D. 水道事業費用		97,897	97,897	
1. 営業費用		97,682	97,682	
2. 営業外費用				
3. 特別損失		215	215	
1. 借方合計=A+B+D	52,674,825	52,987,584	312,758	
E. 固定負債	11,631,620	11,631,620		
1. 企業債	11,385,036	11,385,036		
2. 引当金	246,584	246,584		
F. 流動負債	908,847	862,632	△ 46,215	
1. 企業債	703,132	703,132		H30年度償還元金
2. 未払金	119,676	33,234	△ 86,441	
3. 前受金	72,517	72,569	53	
4. 引当金	13,054	13,054		・賞与引当金
5. 資本的収入整理勘定				
6. その他	468	40,642	40,174	
うち仮受消費税		28,563	28,563	
G. 繰延収益	9,958,276	9,961,553	3,277	
1. 長期前受金	9,958,276	9,961,553	3,277	・償却資産に係る財源のうち、補助金・補償金・負担金・受贈財産等
* " 収益化累計額	3,758,006	3,758,006		
H. 資本金	10,547,278	10,547,278		
1. 自己資本金	10,547,278	10,547,278		・固有、繰入 (出資)、組入
2. 借入資本金				=企業債元金→負債勘定へ
J. 剰余金	174,507	174,507		
1. 資本剰余金	22,900	22,900		・非償却資産にかかるもの
2. 利益剰余金	151,607	151,607		
K. 水道事業収益		355,696	355,696	
1. 営業収益		347,974	347,974	
2. 営業外収益		7,723	7,723	
3. 特別利益				
2. 貸方合計=E+F+G+J+K	52,674,825	52,987,584	312,758	
a. 供給単価 (円、銭)	266.78	=給水収益÷有収水量		
b. 給水原価 (円、銭)		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除く		
①実数値	75.17	=原価算入額÷有収水量		当月予算
②シミュレーション	201.95	原価算入額に減価償却費の「経過月数/12」を加えたもの		
c. 施設利用率	73.05%	=一日平均配水量÷施設能力		
d. 有収率	85.55%	=有収水量÷配水量		
e. 流動比率	375.65%	=流動資産÷流動負債		
f. 現金預金比率	343.71%	=現金預金÷流動負債		

* 供給単価、給水原価は損益ベースであること

平成30年5月期 業務実績報告書（水道管理課）

一 般 事 項

1 料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,577	61,185	61,300	61,425	△ 115	△ 240
2 調定水量	m ³	663,239	1,290,978	1,323,000	1,332,039	△ 32,022	△ 41,061
3 調定料金(税抜)	円	177,307,208	346,670,801	352,000,000	355,723,754	△ 5,329,199	△ 9,052,953
4 口振加入件数	件	25,240	50,402	—	50,628	—	△ 226

2 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
5 給水人口	人	79,848	—	80,828	△ 980
6 給水件数	件	30,393	—	30,510	△ 117
7 閉栓処理件数	件	257	734	873	△ 139
8 閉栓処理件数	件	303	579	643	△ 64
9 給水工事設計審査	件	74	152	105	47
10 給水工事竣工検査	件	118	201	142	59
11 経年メーター交換	件	867	1,396	305	1,091
12 メーター口径変更	件	4	6	5	1
13 月末停止件数	件	△ 1	108	86	22

3 料金徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
14 当年度分	199,106,485円	46.82%	208,065,695円	45.84%
15 過年度分	8,339,053円	95.69%	7,892,988円	95.79%
16 計	207,445,538円	—	215,958,683円	—

4 給水装置工事指定業者（指定停止3社）

追町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
18	8	16	12	13	8	8	14	7	104	120	224

5 入札・契約

(左：当月 右：累計)

項目	累計 (落札件数 / 入札件数)		工事請負		設計業務		業務委託		物品購入		その他	
	8	21	1	1	5	6	2	4	0	10	0	0
入札件数	8	21	1	1	5	6	2	4	0	10	0	0
契約締結	一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	指名	6	17	1	1	5	6	0	0	10	0	0
	随契	2	4	0	0	0	0	2	4	0	0	0
	合計	8	21	1	1	5	6	2	4	0	10	0

《中止 当月 0件 / 累計 0件》《不調 当月 0件 / 累計 0件》《取消 当月 0件 / 累計 0件》《未契約 0件》

6 竣工等検査

検査種類	累計	当月件数	内 容
竣工検査	2	2	工事
中間検査	1	1	工事
合計	3	3	

7 主な行事・会議

会議名	日時	内 容
部長等連絡調整会議	7日	5月 事業打合せ等
事業調整会議	7日	第2回 部長等連絡調整会議復命、日程調整
安全衛生委員会	8日	第2回 職場巡視等について
水道事業連絡会議	9日	第2回 業務報告、日程調整、業務打合せ
水道プースター会議	16日	5月期 水道週間について
給水拠点設置訓練	21日	5月期 中田総合支所
経営分析会議	21日	4月期 各種経営分析等
例月出納検査	23日	4月期 例月出納検査
指名委員会	10・24・30日	第4回・第5回・第6回
入札	10・24日	3件・5件
緊急メールの発信	—日	漏水 4、水質 5、破損 1、取停 2、配備 1

特 記 事 項

1. 5月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

ア 収益的収支

当期の給水収益は191,503千円（税込）で、前月期に比べて8,590千円の増で、対前年同月比では9,199千円の減となっています。営業収益は手数料収益682千円を含む192,185千円、営業外収益は事務手数料3,819千円を含む3,959千円となりました。

当期の営業費用は73,286千円で、対前年同月比では18,814千円の減となっています。特別損失は78千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は工事負担金357千円、加入金1684千円となっています。

支出は配給水施設整備費で2,859千円を執行しました。

ウ たな卸し資産購入限度額

当期は薬品に1,869千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 平成29年度決算の概要

平成29年度決算を調製し、5月18日に市長へ提出しました。決算の概要は次のとおりです。

収益的収入 26億2,055万円 収益的支出 23億8,525万円

資本的収入 9億7,549万円 資本的支出 20億4,234万円

純利益 1億5,160万円

平成29年度の給水収益は、22億5,719万円（予算比1,403万円増、対前年比855万円減）で決算しました。

(2) 水道週間記念植樹事前説明会を開催



説明会の様子

5月17日（木）に登米中学校において水道週間記念植樹事前説明会を開催しました。

この植樹は水道週間にあわせ毎年行なっているものであり、今年も登米中学校1年生が行なうにあたり「なぜ植樹をするのか」を生徒達に説明して欲しいとの中学校からの依頼で事前説明会を開催したものです。水ができるまでのしくみや水道事業所の紹介の後、水と木との関係性、水源かん養機能の説明を通し、植樹の必要性を説明しました。

(3) 市民参加の新たな森林づくり・春

市民参加の新たな森林づくりが5月21日（日）に津山町柳津字大土地内で実施されました。水道事業所からは職員2名と水道業務受託者2名、給水車1台の参加で、植樹の後、給水車の水を提供しました。



給水の様子

(4) 優良工事施工業者表彰審査委員会を開催

5月24日（木）に水道事業優良工事施工業者表彰審査委員会を開催しました。平成29年度水道事業所発注の300万円以上の工事41件を対象に審査を行い、優良事業者4社の表彰を決定しました。表彰式は7月20日（金）に市長部局と合同で開催します。

(5) 災害訓練を実施

5月15日（火）に5月期の水道事業所災害訓練を実施しました。今回は情報伝達訓練ということで、19時に第1報を保呂羽浄水場から第1連絡員に発信し、4月からの新体制での時間外連絡網に沿って情報伝達が行なわれ、19時23分に訓練は終了しました。有事に備え、今後も定期的に災害訓練を実施します。

平成30年5月期 業務実績報告書（水道施設課）

一般事項

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	835,268	1,662,301	1,652,880	1,683,964	9,421	△ 21,663
総配水量	770,512	1,518,996	1,538,990	1,589,278	△ 19,994	△ 70,282
1 有効水量	714,576	1,391,144	1,431,750	1,437,924	△ 40,606	△ 46,780
(1) 有収水量	667,494	1,299,489	1,331,400	1,340,535	△ 31,911	△ 41,046
(2) 無収水量	47,082	91,655	100,350	97,389	△ 8,695	△ 5,734
2 無効水量	55,936	127,852	107,240	151,354	20,612	△ 23,502
(1) 漏水量	55,786	127,447	106,000	151,048	21,447	△ 23,601
(2) その他無効水量	150	405	1,240	306	△ 835	99
3 有収率	86.63%	85.55%	86.51%	84.35%	-0.96%	1.20%

※ 当月期の最大配水量は、1日（火）に記録した【26,946m³】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
ア 取水施設整備事業	4	25,029					25,029	0.00%
ウ 浄水施設整備事業	12	170,127					170,127	0.00%
オ 配給水施設整備事業	74	1,400,311	6	31,844		5,745	1,362,722	2.68%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

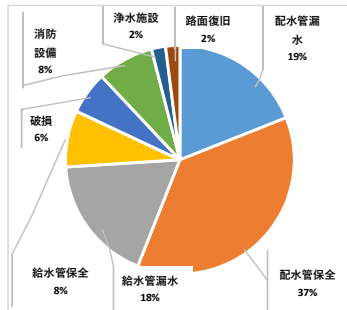
◎ 毎日検査

※ おいしい水の目安 遊離残留塩素 0.4mg/l以下

	保呂羽浄水場 F1 遊離残留塩素	保呂羽浄水場水系 (測定戸数：7)	東和町水系 (測定戸数：9)	石越町水系 (測定戸数：1)	大萱沢浄水場水系 (測定戸数：2)
平均	0.58	0.44	0.43	0.56	0.43
最低	0.54	0.30	0.10	0.50	0.25
最高	0.62	0.62	0.70	0.60	0.55

◎ 特定工事発注状況

	配水管 漏水	配水管 保全	給水管 漏水	給水管 保全	破損	消防 設備	浄水施設	路面 復旧	その他	計
月計	10	19	9	4	3	4	1	1	0	51
累計	21	29	19	5	4	7	4	6	0	95
前年同 月 累計	12	18	18	6	1	9	8	5	2	79



特記事項

1. 第60回水道週間「記念植樹」開催について

5月25日（金）午後1時30分から、登米町大字日根牛上羽沢（市有林）地内で第60回水道週間記念植樹を行いました。

植樹による、水源涵養林としての保水や洪水緩和、さらには自然の自浄作用による水質浄化など「緑のダム」とも呼ばれる重要な役割を果たしており、良質な水源を将来に渡って確保していくことを目的に行われており、今年度で19回目となりました。

登米町森林組合の指導のもと、登米中学校1年生38名（引率教員5名）により、オオヤマザクラ・キハダ・ソメイヨシノ計126本の植樹を行いました。

植樹終了後、生徒代表者より「水源涵養林の大切さがわかった。いつまでも山を大事にしていきたい」と感想をいただきました。



植樹を行っている様子

2. 漏水発生について（迫町佐沼字駒木袋 地内）

5月3日（木）午前7時頃、市民から迫町佐沼字駒木袋地内において漏水しているとの連絡を受け、現場調査を行ったところ、水道1号線（DCIPφ600）の空気弁から漏水を確認しました。

調査したところ、空気弁接合部からの漏水だったことから、本管を止水し、修理を行いました。

現場状況により、断減水等の影響世帯が多数予測されたことから、正午に水道事業所警戒配備第0号としました。復旧は、新田配水池から配水しているエリアの変更、北方配水池配水ポンプの稼働などにより、断減水影響箇所の縮小を図り、空気弁等の取替えを実施し午後2時45分完了しました。その後、管内の洗浄や濁り水などの対応を行い、午後5時15分に水道事業所警戒配備第0号を解除しました。

空気弁接合部からの漏水が多く発生していることから、主要管路において点検を行い、更新工事を計画的に実施し、より安定した水道の供給を目指します。



空気弁接合部からの漏水状況

3. 下り松ポンプ場建設工事完成

下り松ポンプ場機械電気設備工事及び工事監理業務が5月28日に竣工検査が終了し、平成23年度の登米市水道事業施設更新計画策定委員会からの答申を受けてから約6年の年月を経て、すべての事業が完成しました。総事業費は約30億円で、6月5日（火）に議会、工事関係者及び地元住民を迎え竣工式を開催する予定としています。



4. 平成30年5月の漏水調査結果について

5月末の漏水調査の結果、10件16,929m³/h（累計）の漏水を発見しました。5月末での有収率は86.63%となっており、平成30年度末で計画有収率86.1%を目標に調査を実施します。

漏水調査結果	施設	件数	漏水量 (m ³ /h)
	配水管	1	6.000
	付属施設	7	0.929
	給水管	2	10.000
	計	10	16.929